

アメダスが測るのはアメダけじゃないんです

アメダス

全国から集められた観測データは、気象庁ホームページなどで見ることが出来ます。

アメダス観測所では何を観測しているの？

アメダス観測所は全国各地にあり、福岡県内にも20か所ありますが、観測所によって観測している種目に違いがあります。

福岡県内のすべての観測所で観測しているのは降水量です。次に多く観測しているのは気温・風向風速・日照時間

で行っています。

積雪は、福岡管区気象台のみで観測しています。

これらの観測はすべて機械によって

自動で行っており、

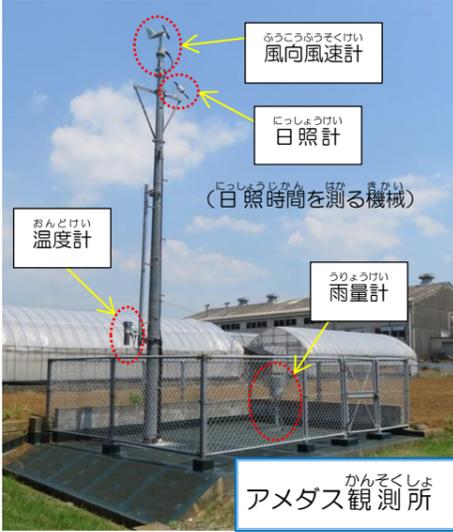
全国から集められ

た観測データは

気象庁ホームペー

ジなどで見ること

が出来ます。



2018年	2月6日	火曜日
平成30年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp	
(ご意見・ご要望はこちらまで)		

「アメダス Q&A」

Q: 降ってきた雪が雨量計に入るとどうなる?
A: 寒いときは雨量計を温めて、雨量計に入った雪やあられ(小さな氷の粒)を溶かして水にします。それを雨の量と同じように測ります。この測った量を「降水量」といいます。

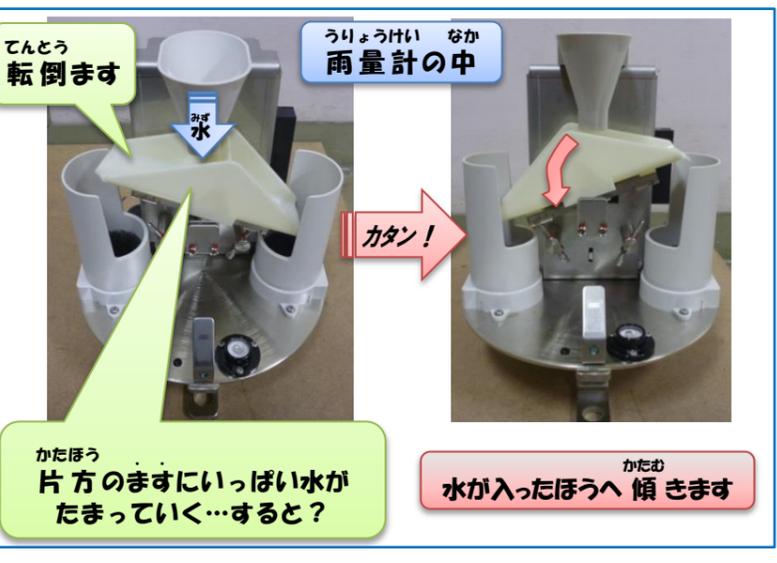
Q: 「雨量」と「降水量」は同じ? 違う?
A: 「雨量」とは、その名のとおり雨の量のことです。「降水量」は、雨の量(雨量)だけではなく、降った雪やあられを溶かして水にした量のこととも指します。「降水量」は、季節に関係なく夏でも冬でも使える便利な呼び方です。

天気キーワード「降水量」はどうやって観測する?

雨量計のしくみ



1回傾くようになっているので、たとえば1時間にますが20回傾いたとしたら、1時間あたりの降水量は10ミリメートルとなります。



天気予報などでよく見聞きする「降水量」。これは雨などが降った量のことを言いますが、降水量はどのような形をして測っているのでしょうか。降水量は「転倒ます型雨量計」という機械で測っています。この中には、2つの三角形の「ます」をくっつけたような形をした「転倒ます」が取り付けられています。雨が降ると片方のますに水がたまっていきます。ますいっぱいになると、水がたまり、また反対側に傾きます。この傾いた回数を数えると、降った雨の量がわかります。0.5ミリメートルの雨が降るとますが1回傾くようになっているので、たとえば1時間にますが20回傾いたとしたら、1時間あたりの降水量は10ミリメートルとなります。

※ 降水量の単位「ミリメートル(mm)」は、降った雨がどこにも流れずにそのままたまった場合の水の深さを表します。

コラム: アメ(雨)を測っているのはアメダスだけじゃないんです

雨量(降水量)は、気象庁のアメダス観測所のほかにも、国土交通省や福岡県・市町村により、道路や川・ダムなどでも観測しています。気象庁では、これら全国1万か所を超える観測所のデータを使って、警報や注意報など、みなさんの安全に役立つ情報に活かしています。

防災情報へのアクセス

パソコン・スマホから

はれるんランド 検索

パソコン・スマホから

はれるん通信 検索